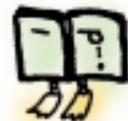
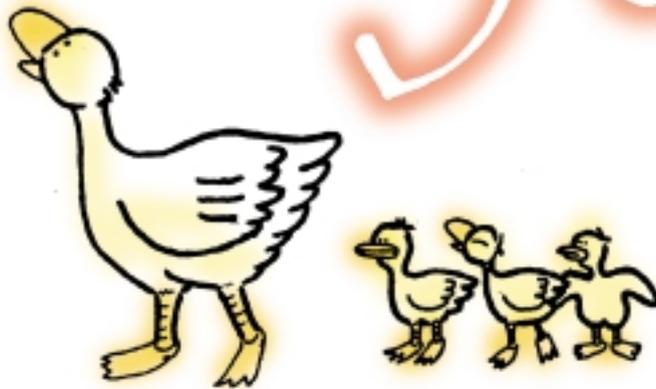


あひるの子の



かわいい言葉を集めてごらん
ずーっと一列に並べてごらん
ほら こんなにおもしろいお話が
できた、君の知らない間に

おうちの話、丘の話
蝶の話、鳥の話
ほんとにどんな話でも
できるんだね、かわいいことばで

『ストーリーテリングと図書館』
- スペンサー・G.ショウの実践から -
竹内 愔 編訳 社団法人日本図書館協会 より

岐阜県図書館編集発行 〒500 8368 岐阜市宇佐4 2 1
TEL 058 275 5111(代)
FAX 058 275 5115
<http://www.library.pref.gifu.jp>

今号は当館Webサイトにも掲載しています。
(次号からはWebサイトへの掲載のみとなります)

4月23日は子ども読書の日

当館では、4月27日(日)に幼児読書
講演会を開催します。
ぜひご参加ください。
演題：子どもと絵本
講師：正高信男氏
(京都大学霊長類研究所助教授)

ブックスタート～岐阜県内の取り組み状況～

ブックスタートへの取り組みは全国に広がりつつあります。岐阜県内での実施状況を把握するため、「ブックスタートに関する調査」を実施しました。

(調査期間：2002年12月～2003年2月 調査依頼先：公立図書館、公民館図書室または教育委員会)

1. ブックスタートを実施している市町村

川島町が2001年4月から開始し、それが全国的にも先駆的な取り組みであったため、関心をもった市町村も多かったのではないかと思います。2002年度は12市町村が実施を開始しました。2003年度以降の実施を検討しているのは14市町村です(開始時期未定を含む)。

2001年度開始 川島町

2002年度開始 岐南町、笠松町、柳津町、関ヶ原町、関市、武儀町、白鳥町、白川町、
中津川市、瑞浪市、清見村、荘川村

実施機会は、3, 4ヶ月健診時が最も多い(5市町村)ですが、1歳児すくすく教室(瑞浪市)、住民福祉課が行う新生児訪問(生後1ヶ月～2ヶ月)に同行(荘川村)など、健診以外の機会に実施している自治体もあります。

2. ブックスタート後のフォローアップ

ブックスタートは絵本が入ったブックスタートバックを手渡して終わり、ではなく、手渡すことから始まります。絵本を選び、メッセージを伝え、手渡すことはもとより、その後のフォローアップにも図書館が積極的に取り組むことがのぞまれます。このことは、すでに実施している複数の自治体が課題としてあげています。

ブックスタートの前後の取り組みとして、白鳥町の例をご紹介します

<ブックスタートに関連する取り組み>

マタニティクッキング(妊婦さんの栄養教室。自由参加。会場：ふれあい創造館：図書館と同じ建物)
ブックスタートの紹介や「読書の楽しさ」について図書館職員が簡単な話をする。

<ブックスタート>

3・4ヶ月児健診(会場：保健センター)

保健師さんとともにブックスタートの趣旨を説明し、図書館職員がブックスタートバックをひとりひとりに手渡します。

10・11ヶ月児健診(会場：保健センター)

図書館職員が待ち時間を利用して赤ちゃんに読み語りしたり、保護者の方に「絵本を楽しんでいますか」と声をかけ、簡単な聞き取り調査をする。

1歳6ヶ月児健診(会場：保健センター・未実施)

ボランティアによる読み語りとアンケートを実施予定。

プログラム中は、保護者の方に図書館を身近に感じ、信頼してもらえるような働きかけをしています。

(ブックスタートの際は「私は図書館の です」と必ず名乗る、ブックスタートバックには図書利用券申込書を入れる、など)

保健センターに絵本コーナーを設置し、訪れた親子がいつでも絵本にふれることができるようにしています。図書館の赤ちゃん絵本や大人向けの育児書を置いています。絵本を見るためだけにセンターを訪れる親子もいます。

図書館にはファーストブックコーナーを設置しています。靴を脱いで上がる場所なので、赤ちゃんが寝そべったり、はいはいしても安心な、清潔な場所です。

バックに入れる利用券申込書の色を変えてブックスタート後の申込者が分かるようにしています。

ブックスタートとは・・・

地域の保健センターで行われる0歳児健診の機会に、すべての赤ちゃんと保護者にメッセージを伝えながら絵本を手渡す運動です。

『ブックスタート・ハンドブック』（NPOブックスタート支援センター発行）より

3. 自治体の実状に合わせた取り組み

ブックスタートのように絵本を手渡すことはしないが、絵本をとおした親子のふれあいや子育てについて、健診や乳幼児学級の機会をとらえて保護者の方々に伝えているところは、20市町村ありました。「予算がない」「職員数が足りない」「保健センター側が消極的」「実施後のフォローアップが困難」「市町村合併次第」といった理由でブックスタート実施を見合わせているのでせめてお話だけでもしよう、と取り組んでいるところも多いですが、20のうち5市町村は来年度からブックスタートの実施開始を予定しています。

また、20のうち18市町村までが、ブックスタート運動が日本で推進されだした2000年以降に取り組みを開始しています。2003年度以降にこうした取り組みの実施を検討している自治体も3つあります。ブックスタートが各地で実施されだしたことで、赤ちゃんと保護者の皆さんの幸せを願った、さまざまな取り組みが広がったことがうかがえます。

4. 「ブックスタート」ということばについて

NPOブックスタート支援センターに問い合わせたところ、「ブックスタート」という言葉は、英国ブックトラストによって運動が発案されて以来、右記の5つの理念をもつ運動を指す言葉として普及しています。支援センターからパックを購入しないと「ブックスタート」と呼ぶことができないということではなく、5つのポイントが生かされる形で実施されていれば「ブックスタート」であり、また支援センターとの確認の上でロゴも使用できるということでした。

ただし、前述の3であげたような取り組みを「ブックスタート」と呼ぶことについては問題があります。ブックスタートの最大の特色が、絵本を手渡し、それが家庭での絵本の時間をつくる「具体的なきっかけ」となる、というところにあるからです。3の場合は、「絵本でふれあい」「親子ふれあい」等、別の名称を考える必要があります。

5. これからブックスタート実施を検討する自治体の図書館・図書室の皆さんへ

具体的に実施を検討する際は、NPOブックスタート支援センターに一度は相談することをおすすめします。実施に向けてのアドバイスをしてもらえるからです。

また、3のような健診などでの取り組みを、ブックスタート開始に向けた準備段階にもできます。さらに、保健センターとの連携体制を整えるとともに、フォローアップも視野に入れて準備をすすめる必要があります。絵本を選び、ブックスタートのメッセージを保護者の方に伝え、絵本を手渡す過程に図書館が責任をもち、その後も図書館として赤ちゃんと保護者を支え続けることも大切といえます。

4、5の内容（「ブックスタート」ということばについて、実施の準備について）は『ブックスタート・ハンドブック』を参考にしました。（当館児童図書研究室に所蔵しています。）

ブックスタートの大切な5つのポイント

1. 赤ちゃんと保護者が絵本を介して向かい合い“暖かくて楽しいことばのひとつ”をもつことを応援します
2. 地域に生まれたすべての赤ちゃんと保護者が対象です
3. メッセージを直接伝えながら絵本を手渡します
4. 地域内の連携のもとに市区町村単位で行われます
5. 特定の個人や団体の宣伝・営利・政治活動が目的ではありません

（『ブックスタート・ハンドブック』より）

NPOブックスタート支援センター
〒162 0814
東京都新宿区新小川町5 19 角田ビル3F
TEL 03 5228 2891 FAX 03 5228 2894
<http://www.bookstart.net>

わらべうた～うたう楽しさ、遊ぶ楽しさ、ふれあう楽しさ～

コダーイ・メソッドとは

私が所属する日本コダーイ協会の「コダーイ」とは、ハンガリーの音楽家ゾルダン・コダーイのことです。コダーイがあみ出したコダーイ・メソッドは、音楽教育の一系統です。音楽教育の系統には他にオルク、ダルクローズのリトミックなどがありますが、コダーイ・メソッドは、「音楽教育の出発点は母国語の歌から」という考えに基づいています。「音楽教育は生まれる9ヶ月前から、お母さんが胎内の赤ちゃんにうたいかけることから始めよう」とコダーイは言っています。幼稚園や保育園では、わらべうたを遊ぶ中で、聴感やリズム感も育てていきます。そして小学校に入ると、子どもたちが遊んだうたを基に、楽譜の読み書きや音楽の理論も学んでいきます。

母国語の歌・わらべうた

私たちの母国語の歌はわらべうたです。わらべうたと一緒に肉声で歌って楽しむ機会をより多くつくとよいと思います。家庭では、親子で目と目を合わせて遊ぶとよいでしょう。また、図書館でのおはなし会でも、絵本の読み聞かせ等を聞くという受動的な楽しさの中に、自分も声を出して歌うという能動的なわらべうた遊びの楽しさが加わると、より楽しさが増します。

わらべうたには、自然との関わりの中で天体（おてんとさん）、気象（雨、雪）を歌ったものが多く見られます。また、小さな動物（かたつむり）や植物（たんぼぼ）を歌ったものも含め、自然に語りかける歌が数多くあります。人と人とのかかわりの中で生まれたわらべうたも沢山あります。大人が遊んであげた遊ばせ遊び、子どもどうしが一緒に遊ぶ集団遊びなどです。また、それぞれの地域に伝わるわ



知念直美

（ちねんなおみ）

自由学園卒業。ハンガリー・リスト音楽院留学、フォライ・カタリン、セーニ・エルジェーヴェト、カタニチ・マリア、ハンヴォシ・アンナ等に師事。現在、サークル活動をつうじ、わらべうた、音楽教育の指導に当たる。国際コダーイ協会会員、日本コダーイ協会副会長。名古屋市在住。



らべうたや、お年寄りの歌うわらべうたを掘り起こしていくことも大切です。

わらべうたの楽しみ方

赤ちゃんや小さな子どもには、たくさん歌って聞かせ遊んであげることが大切です。3歳頃になると自分でも歌えるようになりますし、集団でも遊べるようになります。幼児が楽しめるわらべうたには半音が出てきません。音域が狭く、子どもたちがうたいやすいものばかりです。学童期になると、絵（字）かきうた、ルールの複雑な集団遊び、技を競うわらべうたなどが遊ばれるようになります。半音の含まれたメロディーや、音域の広いうたもあります。

しかし、テレビやゲームなどに慣れ親しんでいる子どもたちは、素朴なわらべうた遊びに集中できない場合があります。そのような時には、人形や布などを使って視覚を通してわらべうたの鼓動を伝える工夫をし、子どもたちと一緒にわらべうたをぜひ楽しんでください。

* * *

講義の中では、たくさんのわらべうたをご紹介いただきました。参加者全員で、実際にわらべうた遊びをしました。

知念先生の講義・実習に先立ち、午前中は当館職員・嵯峨紀子主事より「児童サービスの進め方」と題して、日本図書館協会主催の児童図書館員養成講座で学んだ児童サービスの基本概念や具体的な技術についての発表を行いました。その後、参加者は各地区ごとに分かれて各館・室での実践例などの情報交換を行いました。

平成14年10月30日（火）岐阜県図書館研修室にて
（県内の図書館・公民館図書室職員44名）

「子どもの読書活動の推進に関する法律」が施行されました

平成13年12月、「子どもの読書活動の推進に関する法律」が施行されました。この法律では、子どもの周りにいる大人たちが連携して子どもの読書環境を整備し、子どもの読書を推進することを促しています。

この法律に基づき、平成14年8月には国の「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」が策定されました。これをうけて推進計画を策定するなど、各自治体が子どもの読書活動の推進に努めていく必要があります。岐阜県でも、平成14年8月より、教育委員会社会教育文化課が中心となって岐阜県版推進計画策定に向けて準備を進めています。

推進計画策定のポイント

法律や基本計画が求めているのは、子どもの読書のための環境整備です。

平成14年8月に開催された「シンポジウム“子どもの読書活動の推進に関する法律”を考える」（主催：日本図書館協会）では、推進計画策定のポイントとして、子どもが読書できる場（図書館、学校図書館等）の保障 図書資料を充実させるための資料費の確保 司書や学校図書館を担当する事務職員（学校司書）などの役割の保障 地域で読書活動をしている団体への行政支援 推進のための予算確保 図書館、関係各部署や民間団体も交えた計画の立案、の6点があげられました。

策定にあたってはシンポジウム記録『「子どもの読書活動の推進に関する法律」を考える』が大変参考になります。（日本図書館協会 2002年10月発行 1200円）

4月23日は「子ども読書の日」

法律の中で、子どもの読書についての関心と理解を深め、子どもの読書意欲を高めるために4月23日を「子ども読書の日」と制定しています。この日の前後に、各自治体で図書館などでさまざまな取り組みが行われました。当館でも行事や研修を開催しました。

幼児読書講演会（3，4ページ参照）

お父さんお母さんのための読み聞かせ講座

日 時 平成14年4月26日（金） 11：00～ 14：00～ 19：00～

会 場 岐阜県図書館おはなし室

図書館員のための絵本講座

日 時 平成14年5月～7月（計3回）

会 場 岐阜県図書館研修室

児童図書研究室をご利用ください

当館の「児童図書研究室」は、県内の全ての子どもたちが本との幸せな出会いがもてるように、という願いから、県内の市町村図書館・図書室や子どものまわりにいる大人の皆さんを支援しています。（16歳以上の方が利用できます）

- ・選書の参考になります
- ・新刊児童書を積極的に収集し、1年分は出版月別に排架しています
- ・「ももたろう」「3びきのこぶた」など昔話を中心に同一タイトルの絵本を集めて読み比べることができるようにしています（読みくらべ絵本）
- ・団体、機関が作成した子どもの本のブックリストを所蔵しています
- ・絵本、文学作品は著者名順に並べているので作家研究ができます
- ・特に絵本については昭和47年以降、網羅的に収集しています
- ・新美南吉、宮沢賢治、グリムなど、作家の研究をした参考図書もあります
- ・子どもの本の情報を知ることができます
- ・子どもの本や子どもの読書についての参考図書を所蔵しています
- ・子どもの本に関する雑誌を所蔵しています
- ・図書館などからの要請を受けて講師を派遣しています

（児童図書研究室についてのお問い合わせは 岐阜県図書館人文情報担当 4月よりサービス第一担当）

児童図書研究室の本

2002年1月から12月までに出版された子どもや子どもの読書に関する参考図書で、当館に受け入れた資料の中からおすすめしたいものをご紹介します。ぜひ一度、手に取ってみてください。

『みんなで元気に生きよう』
- 図書館の多文化サービスの
ためのブックリスト137冊 -
社団法人日本図書館協会 編集
社団法人日本図書館協会 2002年3月

『絵本をどうぞ』

小池肇子 著

じゃこめてい出版 2002年3月 1000円

著者が、雑誌「西美濃わが街」に連載している同名のコーナーから、1995年6月から2001年12月掲載分をまとめたものです。毎年テーマを決めて絵本を選び、それを子どもとおとな両方の視点から読み解きながら紹介しています。「あなたのまわりの子どもと あなたのなかの子どものために」と書いているように、子どものためだけではなく、おとなが忘れてしまいがちな素朴な疑問、純粋な気持ちといったことを思い出させてくれるような絵本がたくさんあることに気付かされます。巻末には著者が開催している「お母さんのための国語教室」を通じて感じた、子どもと言葉とのつながり、親子の言葉のコミュニケーションや子どもと絵本との出会いの大切さについて綴っています。

国立国会図書館国際子ども図書館全面開館記念展示

『不思議の国の仲間たち』

- 昔話から物語へ -

国立国会図書館国際子ども図書館 編集

国立国会図書館国際子ども図書館 2002年3月

平成14年5月5日に国立国会図書館国際子ども図書館が全面開館し、記念展示が行われました。本書はその展示図録となっています。内容は「昔話の世界」と「児童文学の世界」の二つからなります。「昔話の世界」では、昔話にみられる型通りの展開 - 1. 聖なる出生、2. 課題を果たす、3. 不思議な援助者、4. 致富と結婚 - に沿って様々な昔話を紹介し、「児童文学の世界」では、昔話を土壌にして生まれた作品の中から、特に竜、妖精、山姥、小人など縦横に活躍する不思議な仲間に関心を当てて紹介しています。貴重な所蔵資料に、国際子ども図書館職員が作品解説及びテーマ解説を執筆しており、大変わかりやすく読みやすいです。巻末には参考文献も記載されています。

『図説 子どもの本・翻訳の歩み事典』

子どもの本・翻訳の歩み研究会 編

柏書房 2002年4月 8500円

翻訳児童文学がどのように成立し、どんな本が、どのように読まれてきたかを、豊富なデータと、研究者による詳しい解説によって知ることができる事典です。「翻訳児童文学の歩み」と題して、1868年から1979年までに出版された翻訳児童文学作品960冊余りを、年代を追ってその時代背景をも紹介するとともに、世界の児童図書賞や、翻訳児童文学に関する子どもの読書調査、翻訳児童文学関連施設の紹介、翻訳児童文学出版年表などのデータを収録しています。また、児童文学の成立過程、さまざまな翻訳方法についての解説や、紙上シンポジウムも掲載しているほか、著名な翻訳者の紹介や読みものもあり、楽しみながら読みすすめていくことができます。

『児童文学に魅せられた作家たち』

林美千代、山崎かよみ、O.L.V. 編著
KTC中央出版 1400円 2002年4月

本書は、愛知県大府市中央図書館のボランティアグループ(O.L.V.)が、中部地方ゆかりの児童文学者8人(岸武雄、河合雅雄、浜野卓也、赤座憲久、かつおきんや、しかたしん、北村けんじ、浜たかや)の作品や活動、経歴をまとめたものです。講演会に招いた際の資料をもとに、さらに研究者による評論も加え、12年という歳月をかけてつくられました。

とりわけ作品リストは、子ども向け作品とその他の仕事、雑誌に掲載されていたもの、その作家について書かれた評論・書評、関連の新聞記事にいたるまで、細かく丁寧にまとめられています。また、研究者による評論や、O.L.V.の会員からの視点なども載せられているので、研究書としてはもちろん、児童文学をより楽しむために役立てられる1冊です。

『子どもに伝えたい昔話と絵本』

藤本朝巳著
平凡社 2002年6月 本体1800円

本書は、著者が大学のオープンカレッジで行った連続講座「子どもに伝えたい昔話と絵本」をまとめたものです。全12回の連続講座のうち、前半の内容は『昔話と昔話絵本の世界』で先に刊行されており、本書は続編で講座の後半部分にあたります。

最初に日本の昔話二話をとおして、昔話のふしぎな世界へ案内します。次にロシアの昔話二話をとおして、昔話の語りや昔話絵本のイラストレーションのすばらしさを解説します。続いてグリム童話絵本を紹介し、昔話と昔話絵本の秘密をのぞきます。

昔話にはふしぎな力があります。伝承的な語り手のいなくなった現在、昔話をいかに伝え、子どもたちとどのように楽しんでいくのかを考えるのに役立ちます。

『子どもと子どもの本に捧げた生涯』

- 講演録 瀬田貞二先生について -
斉藤惇夫著

キッズメイト 2002年6月 本体2000円

本書は編集者として、作家として、そして近所に住む者として、いつも瀬田貞二の周辺にいた著者が、絵本のセミナーや研修会で瀬田貞二を語った内容をまとめたものです。

戦後間もない時になぜ自分の生涯をかけてまで子どもと子どもの本を考え、しかもその考え方が、最初から今の子ども对本に対する考え方の基本になるほどに熟成したものだったのか - 瀬田貞二について何かつかむことができれば、絵本や物語の洪水と新しいメディアに浸食されつつある中で、何が本当に子どもたちのための本で、なぜ子どもたちにとって絵本や物語が必要なのか、もう一度考え直すことができ、自信をもって子どもの前にたつことができる、と著者は語ります。

『はじめて学ぶ日本の絵本史』 ~

鳥越信 / 編 ミネルヴァ書房
2001年12月() ~ 2002年7月()

本書は、近代日本の絵本の歴史的歩みを三冊本として編んだものです。同じミネルヴァ書房から、シリーズ・日本の文学史として出版された『はじめて学ぶ日本児童文学史』の姉妹編となります。

絵入本から画帖・絵ばなしまで、15年戦争下の絵本、戦後絵本の歩みと展望、と構成されています。絵本について書かれた本は数多く出ていますが、絵本の歴史についての本は1冊もなく、本書は日本で最初の近代絵本史にあたります。「近代日本の流れに関わる情報を、現時点で判明している限り、全て提供するということ」、「質的には評価できないと考えられる絵本についても、同じように記述したこと」の2点が、全体についての基本的な考えとして構築されています。情報量が大変豊富で、研究書として必読の1冊です。

2002年

児童文学賞 受賞一覧

(賞名の五十音順に並んでいます)

2002年・IBBY朝日国際児童図書普及賞

アルゼンチン児童文学研究センター

第16回・赤い鳥さし絵賞

沖井千代子/作 岩倉欣二/絵「空ゆく舟」
(小峰書店)

第32回・赤い鳥文学賞

沖井千代子/作 岩倉欣二/絵「空ゆく舟」
(小峰書店)

第25回・巖谷小波文芸賞

正賞 上橋菜摘子 守り人シリーズ全4巻
(偕成社)

2002年度・エクソン・モービル児童文化賞

長新太

第11回・小川未明文学賞

大賞 青山秀市「ど・ん・ま・い」
優秀賞 藤平恵里「ナナとおはなしのたね」
吉木智「カエルのなみだ」

第4回・学校読書推進賞

大賞・村松金治賞 該当なし
賞 浦和子どもの本連絡会
滋賀県立甲西高等学校図書館
読み聞かせサークル「たんぼぼ」
(千葉県)

第42回・久留島武彦文化賞

個人 奥田 明(口演童話家)
平田大一(詩人、勝連町きむたかホール
館長)
矢吹公郎(映画監督)

団体 人吉影絵劇サークル「まつぼっくり」

第24回・講談社絵本新人賞

藤川智子「むしゃむしゃ武者」

第33回・講談社出版文化賞・絵本賞

武建華/絵 千葉幹夫/文「舌ながばあさん」
(小学館)

2002年・国際アンデルセン賞

作家賞 エイダン・チェンバース

画家賞 クェンティン・ブレイク

2002年度・コルデコット賞(邦訳があるもの)

デイビッド・ウィーズナー/作 江国香織/訳
「3びきのぶたたち」(BL出版)

ドリーン・ラバポート/文 もりうちすみこ/訳
「キング牧師のカブよいことば」(国土社)

マーク・シーモント/作 みはらいずみ/訳
「のら犬ウィリー」(あすなる書房)

第49回・産経児童出版文化賞

大賞 ヘニング・マンケル/作 オスターゲ
レン晴子/訳「炎の秘密」(講談社)

JR賞 ヘルマン・シュルツ/作、渡辺広佐/訳
「川の上で」(徳間書店)

賞 伊藤遊/作 太田大八/画
「えんの松原」(福音館書店)
ホリー・ホビー/作 二宮由紀子/訳
「クリスマスはきみといっしょに」
(BL出版)

リチャード・ベック/著 斉藤倫子/訳
「シカゴよりこわい町」(東京創元社)
島村英紀/著「地震と火山の島国」
(岩波書店)

寺田志桜里/ぶん・え
「平和のたからもの」(くもん出版)

美術賞 ジョン・ラングスターフ/再話
フォードル・ロジャンコフスキー/絵
さくまゆみこ/訳
「かえるだんなのけっこんしき」
(光村教育図書)

フジテレビ賞

竹内もと代/作 ささめやゆき/絵
「不思議の風ふく島」(小峰書店)

ニッポン放送賞

カレン・ヘス/作 伊藤比呂美/訳
「ピリー・ジョーの大地」(理論社)

第51回・小学館児童出版文化賞

石垣幸代・秋野和子/文 秋野亥左半/絵
「サシバ舞う空」(福音館書店)

佐野洋子/作「ねえとうさん」(小学館)

第17回・坪田譲治文学賞

川上健一/著「翼はいつまでも」(集英社)

第6回・手塚治虫文化賞

マンガ大賞 井上雄彦 吉川英治/原作

「バカボン」(講談社)

優秀賞 三浦健太郎「ベルセルク」(白泉社)

第20回・新美南吉児童文学賞

征矢清/さく 林明子/え「ガラスのうま」
(偕成社)

第7回・日本絵本賞

大賞 柴田愛子/文 伊藤秀男/絵
「けんかのきもち」(ポプラ社)

絵本賞 とよたかずひこ/作・絵
「どんどこももんちゃん」(童心社)
佐野洋子/作「ねえとうさん」
(小学館)

翻訳絵本賞

マーガレット・ワイルド/文
ロン・ブルックス/絵 寺岡襄/訳「キツネ」
(BL出版)

読者賞(山田養蜂場賞)

デイビッド・シャノン/さく 小川仁央/やく
「だめよ、デイビッド!」(評論社)

第26回・日本児童文学学会賞

米沢嘉博/著
「藤子不二雄論—Fと(A)の方程式」
(河出書房新社)
奨励賞 加藤康子・松村倫子/編著
「幕末・明治の絵双六」(国書刊行会)

特別賞 該当者なし

第42回・日本児童文学者協会賞

沖井千代子/作 石倉欣二/絵
「空ゆく舟」(小峰書店)
花形みつる/作 浜田桂子/絵
「ぎりぎりトライアングル」(講談社)

第35回・日本児童文学者協会新人賞

伊藤遊/作 太田大八/画
「えんの松原」(福音館書店)

第26回・日本児童文芸家協会賞

協会賞 竹内もと代/作 ささめやゆき/絵
「不思議の風ふく島」(小峰書店)

協会賞特別賞

浜野卓也(「さよなら友だち」をはじめとする
200冊以上の著作に対して)

第31回・日本児童文芸新人賞

渡辺わらん/作「ポーソーとんがりネズミ」
(講談社)
三津麻子/著「どえらいでえ!ミヤちゃん」
(福音館書店)

第32回・日本童謡賞

高木あきこ 詩の絵本「おやつのうち」
(リーブル)

第32回・野間読書推進賞

団体 よこはま文庫の会(神奈川県)
沖縄県子ども本研究会(沖縄)

個人 吉田まさ子(福島)
勝尾外美子(石川)

第13回・ひろすけ童話賞

さだまさし/作 東菜奈/え
「おばあちゃんのおにぎり」(くもん出版)

第19回・福島正実SF童話賞

大賞 服部千春「グッバイ!グランパ」
優秀賞 有永吉伸
「スダマの森のカルメンちゃん」

第19回・ブラティスラヴァ世界絵本原画展

金のりんご賞
ベッテ・ウェステラ/作
ハルメン・ファン・ストラテン/絵
野坂悦子/訳「おじいちゃん わすれないよ」
(金の星社)

第26回・毎日童話新人賞

最優秀新人賞
江積久子「おにぎりのすきな わかとのさま」
優秀賞 北山典子「まじょのナオボさん トン
ガリ山へ行く」
優良賞 北七帆「約束の曲」
佳作 岡本智子「ひみつのたまご」
仲宗根睦「筋肉少年」

第6回・三越左千夫少年詩賞

島村木綿子「森のたまご」(銀の鈴社)

特別賞

李芳世「こどもなったハンメ」
(遊タイム出版)

第12回・椋鳩十児童文学賞

河俣規世佳/作 門田律子/絵
「おれんじ屋のきぬ子さん」(あかね書房)

県内図書館の子ども向けの行事一覧

館名	行事名	開催日時	対象	問合先(図書館)
岐阜市立図書館	よちよちおはなし会	ひよこくらぶ 毎月第2水曜日11:00～	1～3歳	058 262 2924
	すくすくおはなし会	こぐまくらぶ 毎月第1土曜日14:00～	3～6歳	
	わくわくおはなし会	たから島 毎月第3土曜日14:00～	小学生	
	おはなし会	毎月第4土曜日14:00～	幼児から小学校低学年	
" 分館	おはなし会	毎月第4土曜日14:00～	幼児から小学校低学年	058 268 1061
" 東部図書室	おはなし会	毎月第4土曜日14:00～	幼児	058 241 2727
" 西部図書室	おはなし会	毎月第1土曜日10:30～	小学生	058 234 1633
	おはなし会	毎月第3金曜日10:30～	乳幼児	
羽島市立図書館	おはなしひろば	第2,4土曜日	幼児から小学校低学年	058 392 2270
各務原市立中央図書館	よみきかせ	毎週木曜、第1金曜、第2土曜、第2,3日曜11:00～、第1,3,4土曜14:00～		0583 83 1122
川島町ほんの家	たのしいおはなしのじかん	毎週土曜日14:00～14:30	幼児から小学校低学年	0586 89 2811
岐南町図書館	おはなしの会	毎週土曜日14:00～14:30	幼児から小学校低学年	058 247 7737
北方町立図書館	おやおはなしポケット	毎月第3土曜日10:15～		058 323 3155
穂積町立図書館	おはなし会	毎週土曜日14:00～	児童	058 326 2300
	未就園児おやおはなし会	第2,4火曜日	未就園児	
しんせいほんの森	おはなしひろば	毎月第3木曜日・毎週日曜日10:30～	幼児	058 323 5757
伊自良村図書館	よみきかせ	毎週土曜日14:00～14:30	幼児から小学校低学年	0581 36 3339
大垣市立図書館	おはなし会	毎週土・日曜日13:00～14:30	幼児から小学校低学年	0584 78 2622
海津町図書館	おはなしの会	毎月第3土曜日14:00～	幼児から小学校低学年	0584 53 1515
平田町生涯学習センター	作って遊ぼうおはなし会	毎月第4土曜日14:00～	児童	0584 66 4900
	おじいちゃんおばあちゃんの	毎月第2土曜日14:00～	児童	
	おはなし会			
養老町図書館	おはなしあっぷっぷ	月1回10:00～	幼児	0584 33 0215
	楽しい読み聞かせ	毎週土曜日14:00～14:30	小学校低学年まで	
タルイピアセンター	読み聞かせ	毎週土曜日14:00～	幼児から小学校低学年	0584 23 3746
関ヶ原ふれあいセンター・ふれあい図書館	おはなし原っぱ	毎月第2,4土曜日10:30～11:00	小学校低学年くらいまで	0584 43 2233
神戸町立図書館	えほんのひろば	毎月第2,4土曜日14:00～	小学校低学年	0584 27 9866
輪之内町立図書館	おはなしをたのしむ会	毎月第1土曜日10:30～、第3・最終日曜日14:00～	幼児から小学校低学年	0584 69 4500
揖斐川町立図書館	おはなし会	毎月第1土曜日14:00～	幼児から小学校低学年	0585 22 0219
大野町立図書館	読み聞かせ会	毎月第3土曜日13:30～	小学校低学年くらいまで	0585 32 1113
池田町図書館	おはなしの会	毎週土曜日11:00～	乳幼児から小学校低学年	0585 45 6222
関市立図書館	おはなしひろば	第1～4土・日曜日14:00～15:00	乳幼児	0575 24 2529
	英語による読み聞かせ	毎月第1土曜日		
美濃市図書館	おはなし会	毎月第2土曜日	小学校低学年くらいまで	0575 35 2280
郡上八幡総合文化センター図書館	おはなしばたけ	毎月第2土曜日14:00～	幼児から小学生	0575 65 6769
	としょかんにぎやかデー	毎月第4土曜日14:00～	幼児から小学生	
武儀町図書館	おはなし会	毎月最終土曜日13:30～	幼児から小学校低学年	0575 49 3715
白鳥町図書館	おはなしひろば	第2土曜日を除く毎週土曜日	幼児から小学生	0575 82 6006
美並村図書館	図書館イベント	基本的に第2土曜日	幼児、小学生	0575 79 3700
美濃加茂市立中央図書館	おはなしランド	毎週土曜日13:30～14:00	特に定めず	0574 25 7316
美濃加茂市立東図書館	にじのおはなし広場	毎週土曜日11:00～11:30	特に定めず	0574 26 3001
可児市立図書館	かっ子タイム	毎週土曜日14:00～	幼児から小学生	0574 62 5120
中山道みたけ館	わくわくたいむ	毎月第1,2,4土曜日14:00～14:30	乳幼児から小学生	0574 67 7500
多治見市図書館	おはなしのへや	毎週土曜日11:00または14:00～	幼児から小学校低学年	0572 22 1047
中津川市立図書館	すいーとぼてとのおはなし会	毎週土曜日14:30～15:30	幼児から小学校低学年	0573 66 1308
瑞浪市民図書館	おはなしのじかん	毎週土曜日14:00～15:00	幼児から小学校低学年	0572 68 5529
恵那市図書館	おはなしの会	毎週土曜日14:00～15:00	年少～小学校低学年	0573 25 5120
土岐市図書館	ブックトーク	毎月第2,4土曜日14:00～14:30	幼児	0572 55 1253
高山市図書館	おはなし会	毎週土・日曜日14:00～	乳幼児から小学生	0577 32 3096
はぎわら図書館	よみきかせの日	毎月第2土曜日14:00～14:30	幼児から小学校低学年	0576 52 4800 内線433
丹生川村立図書館	「いちごくらぶ」読み聞かせの会	毎月第3土曜日13:30～15:00	幼児・小学生	0577 78 1111
古川町立図書館	やんちゃっこタイム	毎週土曜日15:00～15:30	幼児から小学低・中学年	0577 73 5600
	ひよっこひろば	毎月第2金曜日9:30～11:00	2歳児とその親	
神岡町立図書館	こだまグループ	毎月第1土曜日14:00～14:45	幼児から一般	0578 2 1764
岐阜県図書館	おはなし会	毎月第1,3日曜日11:00～11:30	幼児から小学校低学年	058 275 5111
		毎月第2土曜日14:00～14:30	小学生	
		毎月第2,4木曜日11:00～11:30	～3歳	
	英語などのおはなし会	毎月第1日曜日14:00～14:30	子ども～大人どなたでも	

- ・平成15年3月に確認した4月以降の予定です。未定のため掲載していない館もあります。
- ・月1回以上、原則として定期的開催している行事のみ掲載しました。
- ・開催日時は各館の都合により変更することがありますのでご注意ください。
- ・対象欄の年齢等はおおよその目安です。また、いずれの行事も親子を対象としています。
- ・各公民館図書室でも行事が開催されています。当館Webサイトに掲載しましたのでご覧ください。